

20億人が交通機関利用でパニックに！これから始まる中国の『帰省ラッシュ』って

网友实拍：“春运”被誉为人类历史上规模最大迁徙

▼ 座席でなくても座れたら良い方だ ▼



“春运”被誉为人类历史上规模最大的、周期性的人类大迁徙。在40天左右的时间里，将有20多亿人次的人口流动，占世界人口的1/3。[1]中国春运入选中国世界纪录协会世界上最大的周期性运输高峰，创造了多项世界之最、中国之最。

▼ 帰省客で溢れかえる駅構内 ▼



春运是中國大陸在農曆春節前後發生的一種大規模的高交通運輸壓力的現象，春運期間客流量非常大。春運一般發生在春節前15天及節後25天左右，因此每年春運約40天。一般意義上的春運，是指中國大陸的省際、省內交通，一般不包括大陸與港澳之間的交通、海峽兩岸間交通以及國際交通。口語中的“春運”有兩個含義，一是指春節前後的運輸現象，二是“春運期間”的簡稱。

中国では独裁の下で失業者が増加し、言論の自由がない環境で暮らす八億人以上の農民や一億人以上の元解放軍兵士がいる。彼らは政府に強い不満を持っており、毎年一千回に上るデモの主催者は殆どが退役軍人である。

この問題を解決するために、一九九〇年代初期、多くの退役軍人を海外へ移民させ、日本に向けても、留学や結婚、経済移民、実習生などのあらゆるルートで移民を進めている。

上るデモ抗議は頭の痛い問題だ。二億以上の中国人が外国に移住したら方々歳である、と中共指導者が言っている。陸軍は七十万人の兵力を削減し、大学の卒業生を空・海軍に入隊させる計画である。中共は日本の民主党政権が打ち出している一千万人移民受

外国人の三人に一人が中国人である。今年七月の法務省統計によれば、都内に住む在日中国人は十五万人以上いる。しかしこれは登録されている表向きの数字で、実際にはさばに多いとみられる。

人民日報九月二十九日付は、中国全国で日本留学ブームが起きているとの記事を掲載した。文部省の主導で、留学に関する情報提供やシヤ取得を含む入学システムの改善、受け入れ体制の整備、卒業後の就職支援などが行われている。

春运规模之大，以致中国大陆交通难以承受，为了解决春运问题，中国政府每年都要提前部署，但仍无法满足春运要求。



春运产生原因

主要有三点:1. 经济发展不均匀。2. 运力不够。3. 平时假期少。经济发展不均匀，导致人口大量流动。在短时间内，交通运输无法满足大量人口流动。平时假期少，人们集中在春节期间返乡。



春运的产生主要来自中国人的传统观念及社会人力大量流动的情况。在中国，春节是一年中最重要的节日，是一年的开始，无论离家人有多远，一般人都要尽量在除夕时与家人团聚，共度新春。自改革开放以来，中国政府开始鼓励自主就业，并且人员的流动的限制也开始松动。因此有非常多的人从经济欠发达的地区到经济较发达地区就业，造成了人力的大量流动。这些离开家去外地就业的人员在春节前后集中返乡过年，即成为春运运输的主要人群。

▼ 隙間もないほどの列が延々続く ▼



春运发生的另外一个原因，是已建成的交通网络不能完全满足交通需求。中国铁路里程虽然居于世界第三，但是人均铁路只有5.8厘米（2006年），不够一支香烟的长度，所以也被戏称为“香烟铁路”。为此，中国政府也制定了诸如《中长期铁路网规划》等计划，来缓解运力不足的问题。

20億人が交通機関利用でパニックに！これから始まる中国の『帰省ラッシュ』



中国の兄弟国ロシアは中国の人口侵略政策をよく心得ているので、中国人移民に厳しい。ロシアには中華街が存在せず、数十万人に上る中国人不法滞在者を国外へ追放している。ロシア軍による中国漁船銃撃事件でも中国政府は何も言わなかった。また、中共の盟友北朝鮮にも中国人はたくさんいるが、中国人参政支援協会など設立されない。伊仏印も中国人移民に厳しくなってきた。インド政府はこのほど三万人の中国人労働者を国外退去や送還をする。



この二十年來の「日中友好」の交流のもとで、中国系の在日華僑、新華僑勢力は勢いを増し、日本全国に巨大な華僑ネットワークを構築した。池袋だけでも中国人経営の会社や商店、不動産、二十四時間保育園など二百を超える。九十年代に急増した。

月刊中国「発行人 鳴霞」

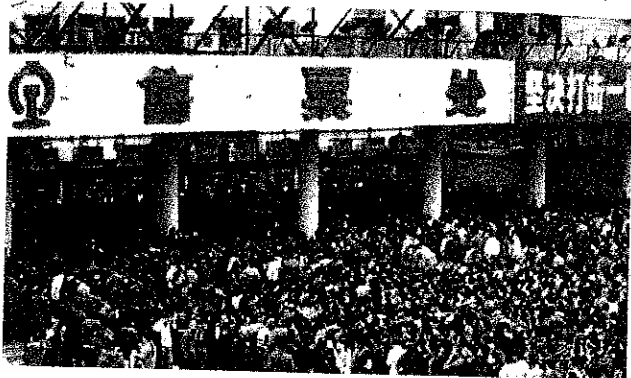
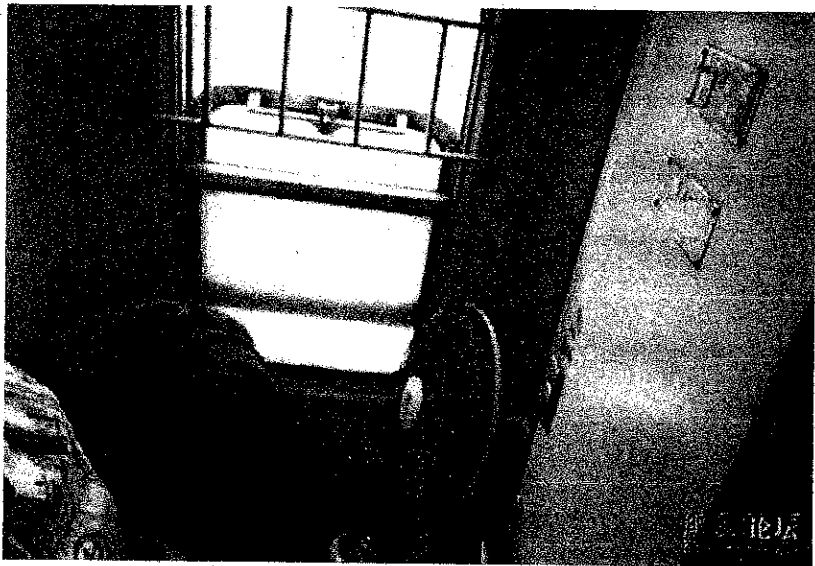
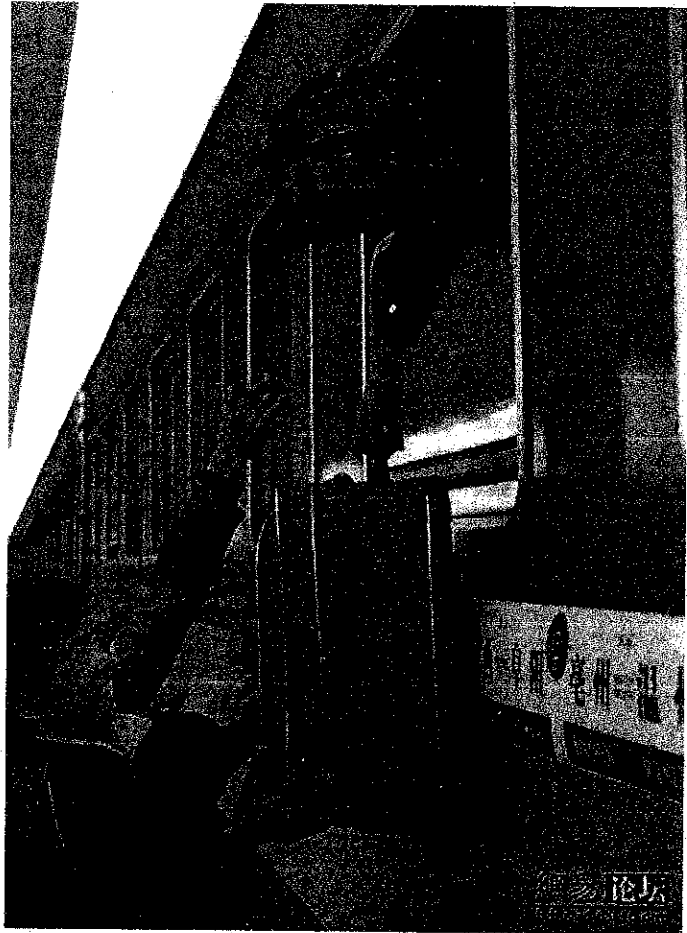
また、駐日中国大使館の支援で、中国人参政支援協会も設立された。独裁教育を受けて育った中国人が発行する五十を越す日本国内の中国語媒体は、中共によるチベット・ウイグル・民主化活動・法輪功弾圧や在日中国人の犯罪を報道せず、一

方、中国人参政権獲得支援については世界に向け報道している。〇四年に中国人が尖閣諸島に上陸成功した事に在日華僑の協力があつた。民主党政権が一千万人移民（その多くを中国人が占めるであろう）を受け入れたら、尖閣諸島はもとより沖縄も占領できるだろう。

また、日本政府の留学生三十万人招致計画により、中国人留学生は前年（〇八年）より二〇％増加した。今後、中共陸軍を解雇された七十万人の若い退役軍人が留学生として来日すると考えられ、来年度はさらに増加するだろう。

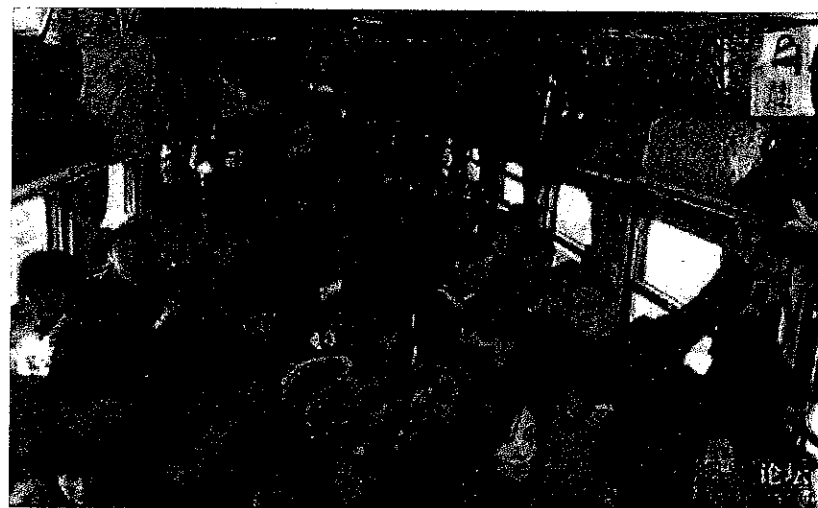
こうした動きとは逆に不景気で多くの国民が失業している日本は、中国人の移民、留学を積極的に受け入れ、仕事まで斡旋するという。日本政府は日本を解体するつもりなのか、それとも中国の一省になるつもりなのか。在日中国人は故国中国にこそ参政権を求めるべきだ。

これから日本へ中国人が大量流入する





▼ すれ違うことは不可能。網棚もパンパン ▼



20億人が交通機関利用でパニックに！これから始まる中国の『帰省ラッシュ』って



毎年、中国では春節(旧正月)に帰省ラッシュが訪れる。春節は中国社会にとって最大の国民行事であり、文字通り国中が動く。今年の春節は2月14日。前日の13日(旧暦の大晦日)には家族で食事をするのが伝統で、この日ばかりはどんなに離れて暮らしていても、誰もが実家へと帰って行く。旧正月に向けた人民大移動が始まりつつあるらしい。

通常、春節の移動は元旦に当たる日の15日前から始まり、正月を迎えた後の25日まで続く。この40日間に交通機関は延べ20億人の旅客数を記録する。世界人口の約3分の1に相当する数だ。世界最大の民族移動に中国の交通機関は悲鳴を上げている。なぜこのようなことになるのか。人民大移動のニュースを伝えているbbs.163.comでは、人民大移動の混乱の理由を以下のように挙げている。

1. 不均衡な経済発展
2. 交通機関の整備が不十分
3. 普段の休日が少ない

20億人が交通機関利用でパニックに！これから始まる中国の『帰省ラッシュ』って？

の3つである。都市と地方の間でのアンバランスな経済発展により、人口が都市部に集中している。そのため、帰省時期になると都市人口が地方に一気になだれ込む。貧しい地方の交通機関は脆弱であり、大量の移動をまかない切れぬ。おまけに普段の休日が少ないので、正月休みに帰省が集中するということになるのだ。この猛烈な人民移動に、中国の人たちも嘆いている。以下はこのニュースに対する中国人たちのコメントだ。

「正直、怖いので帰るのを止めました。その方がいい」
 「マジ人多い」
 「春節を思うと怖い。帰って来て欲しいと家族は思ってると思うけど、帰るのよそうかな。帰らないと親孝行じゃない気もするけど」
 「人の波が恐ろしい」
 「チケット値上がりしてんだよなあ」
 「金がないからこうなるんだよ」
 「中国の特徴」
 「俺、今年は帰ることに決めた」
 「春節は何もかもが大変」

見た目以上に困難を伴う帰省のようだ。春節時の輸送体制は特別に強化されているようだが、過密な人口移動を解決するためには、この先10年以上掛かりそうだ。世界トップクラスの発展国なのだから、少しは地方交通機関の充実にお金を使っても良さそうなのだ。